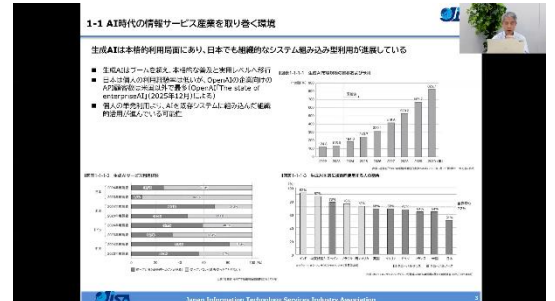


情報サービス産業白書 2026

「AI 時代における情報サービス産業の人材問題を考える」

講演会 開催報告

令和 8 年 7 月 9 日（木）10 時 00 分から 11 時 30 分まで、オンライン説明会（Zoom）にて、情報サービス産業白書 2026「AI 時代における情報サービス産業の人材問題を考える」講演会を開催した。参加者は 224 名。



はじめに、JISA 副会長・政策提言委員会 委員長 桑野 徹氏（TISI(株) 取締役会長）から挨拶があり、その後、（株）みずほ銀行 みずほ総合研究所 ソーシャルイノベーションコンサルティング部 システム構想実現チーム 相原 慎哉氏（ディレクター/令和 7 年度政策提言委員会 白書編纂部会 部会長）、石井 正宏氏（マネジャー）、桂本 真由氏（マネジャー）より講演が行われた。

最初に相原氏より 2026 年版において生成 AI 時代における人材問題に着目した背景、および AI の普及が情報サービス産業の人材需給に与える影響と取るべき行動を探るべく実施した「情報サービス産業（JISA 会員企業）アンケート」の結果について説明があった。続いて石井氏より「ユーザー企業アンケート」、桂本氏より「IT エンジニアアンケート」の結果の概要と、それぞれの立場ごとの現状認識と今後の見通しが紹介された。

最後に相原氏より、今回の調査から浮き彫りになった課題を踏まえ、情報サービス産業が取り組むべき方向性として、「ビジネスモデルの変革」、「リスクリングの推進」、「経営と現場の認識ギャップ解消」、「組織変革とチャンス拡大」などを推進していくことが不可欠であると示された。

その後、活発な質疑応答が行われ、閉会となった。

なお、本説明会で紹介された各種アンケートの集計結果や多角的な分析の詳細は、発売中の『[情報サービス産業白書 2026 年版](#)』（発行元：インプレス）に掲載されている。

（會木）